

平成27年度函館市事業評価調書

平成27年6月作成

整理番号	80	事業名	地特事業	事業の性質別	義務的経費(一部裁量的経費)	区分	
予算事項名	大事項	街路整備事業費		中事項	地特事業		
事業開始年度	平成 4 年度	根拠法令等	あり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律・政令・省令名 (高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 第10条) <input type="checkbox"/> 道条例、規則、要綱等() <input checked="" type="checkbox"/> 市条例、規則、要綱等(函館市高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る道路の構造に関する基準を定める条例)			
部課名	土木部道路建設課						
電話番号	21-3419						

1. 事業の目的・必要性と内容 (PLAN) ※この事業を行う目的・必要性は何か。どのような取組を行っているのか。

目的・必要性	【目的】 地域が緊急に対応しなければならない課題に応じて早急に行う必要がある道路整備を推進し、地方公共団体からの要望が特に強い特定の道路について、交付金事業と単独事業を効果的に組み合わせた地方特定道路として整備を図ろうとするものである。
	【必要性】 交差点照明を除く道路照明の設置など、街路整備事業費のうち交付金事業の対象とならない整備で、街路整備と一体的に整備する必要のある施設の整備費として必要である。
内容	市債の中長期的な償還に影響を与えることから、単年度毎の予算を平衡させるように努めるとともに、交付金事業の対象の可否を毎年度精査している。

2. 概算総事業費 (DO:コスト) ※事業を行うための費用の状況はどうか。コストがどれくらいかかっているのか。

(単位:人,千円)

		平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度予算	平成26年度決算見込	平成27年度予算	平成28年度予算要求
事業費 (A)		55,000	15,898	65,000	63,642	45,000	0
特定財源	国・道						
	市債	49,500	14,300	58,700	57,200	42,500	
	その他						
一般財源		5,500	1,598	6,300	6,442	2,500	
事業を実施するために必要な人件費 ※人工は小数点第3位を四捨五入しているため、実際に人工がかかっている場合もある。	職員	人工 0.82 6,157	人工 0.73 5,269	人工 0.91 6,634	人工 0.93 6,780	人工 0.70 5,258	人工 0.00 0
	嘱託職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	臨時職員	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0	人工 0.00 0
	人件費(B)	6,157	5,269	6,634	6,780	5,258	0
総事業費計(A+B)		61,157	21,167	71,634	70,422	50,258	0

3. 活動実績 (DO:アウトプット) ※目的を達成するためにどのように取り組み、その実績はどうか。

活動指標名	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
事業実施	路線	3	3	4	

4-1. 成果等 (DO:アウトカム)

※事業の成果指標は何か。

成果指標	定量的な成果指標はない。
------	--------------

4-2. 成果等 (DO:アウトカム) ※事業を実施し、どのような成果が得られたのか。

事業の成果等	市街地の補助幹線道路として適正な照度の確保により安全な歩道の整備を行っている。又、街路整備事業の整備効果調査を行い、ホームページ等で広く市民に広報している。
--------	--

5. 事務事業の点検 (CHECK)

評価項目	評価内容	評価内容の説明	評価項目	評価内容	評価内容の説明	
必要性	事業の市民ニーズ	変わらない	コスト負担	コストの節減度	節減できている	
	市の関与の妥当性	法令・条例等の根拠により関与が妥当		将来コスト増減見込み	現在より低減する可能性	積算システムや製図ソフト(CAD)の導入により、業務の効率化・省略化を行い、人工の削減に努めている。
				受益者負担の適正度	適正	
成果・有効性	成果の達成状況	達成している	執行方法	外部委託の可能性	すでに実施	
	事業目的実現のための手段	現手段が最適		実施方法の効率性	図られている(今後も更に改善可能)	測量・設計業務については既に委託業務を行っており、今後は事業規模に応じて施工管理業務の外部委託等についても検討していきたい。
評価結果から明らかになった課題事項など						

6. 今後の改善策 (ACTION) ※今後改善する点は何か。どのように進めていくか。

今後の方針 (改善・見直し内容)	基本方針	(事業について) 現行どおり継続する。
	現行どおり	(経費について) コストの低減に引き続き努める。

参考:他の自治体の状況

比較参考値 (他の自治体の類似事業の状況など)	
----------------------------	--